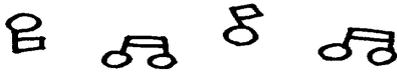




いちごぐみだより 2月



2024. 2

尚徳福祉会 坂戸保育園

2月になると言うのに暖かい日が続いています。外で遊べる機会が多く、「お外行こうね」と声をかけると、「はい」と元気にお返事をしてくれます。帽子や上着の準備をしていると、自然と子どもたちが集まってきます。次は何をするのかな？どこに行くのかな？など少しずつ見通しを持ち、そこに自らの意思で向かおうとする子ども達の姿に大きな成長を感じています。



食べるの大好き！

給食の時間に「ご飯食べようね」と声を掛けると子どもたちは水道の前に行って「あわあわ」と石鹸をつけようとしています。ゴシゴシと綺麗にしてジャージャーと水で流して次はパッパッ！子どもたちは手洗いの順番を覚えて楽しんでます。

食事の好みが出てきてこれは要らないと言う時もありますが殆ど完食、そしておかわりをしています。きれいになると「ピッカピカ」ときれいになったお皿を見せてくれています。

それに、食べるのがとっても上手です。手づかみでぐちゃぐちゃ、ベタベタだった4月ですが今ではスプーンを使ってきれいに食べられるようになりました。すくにくい時はお手伝いしますが、殆ど自分で食べることが出来ます。あまりたくさんお口に詰め込んでしまうと上手にモグモグが出来なくなるので注意しながら見えています。

スプーンでお口に入れてあげる時は上唇で取り込めるようにし、口の中にはスプーンが半分だけが入るようにしましょう。上唇で取り込み、舌で奥歯に送ります。舌の奥に入れてしまうとそのままゴックンしてしまいます。よく噛んで食べるためには、今のうちに舌の動きの練習が出来るとよいと思います。

大きくなったね会

たくさんの笑顔と元気な声で泣いたり、ハイハイや寝返りをしていた春。今では走ったり、自分で衣服の着脱をしようとする姿が見られるようになりました。一人ひとりが大きくなり、友だちと同じことをして遊ぶ楽しさを知り、友だち同士で顔を見合わせ笑いあうなど、いちご組はみんなが笑顔で過ごしています。

この1年で大きく成長をしているいちご組さん。“大きくなったね会”ではクラスで子ども達の手遊びと制作を保護者の皆様と一緒に作って、楽しんでいきたいと思っています。みなさまのご参加をお待ちしています。

脱げるかな？

今子ども達が頑張っていることそれは服の着脱です。外から帰るとお着替えをしています。

「おズボン脱げるかな」と子ども達に声を掛けると、ズボンに手をかけて脱ごうとする姿があります。そして一番の難所、足首「うーん」「あー」と声を出しながらも頑張っている子ども達、少し保育者がお手伝いしてズボンを脱ぐことができると「できた」と満面の笑みを見せてくれます。上着も手を抜いてあげると

自分で顔を出して「ばあ」とニコリしてくれます。

